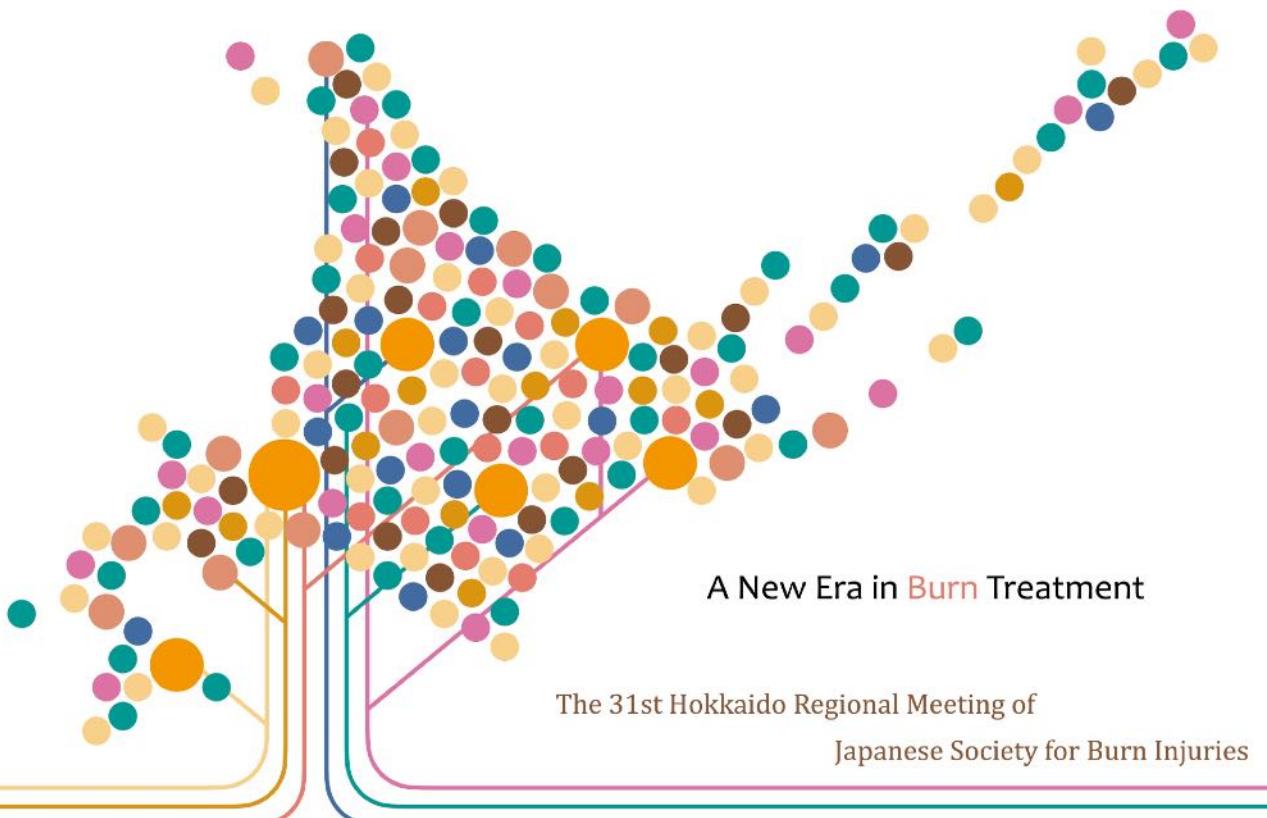


# 第31回日本熱傷学会北海道地方会

## プログラム



2025 2 | 8 Sat

Hybrid開催



会場

北海道大学医学部臨床大講堂 + Zoomライブ配信

会長

石川 耕資 (北海道大学病院 形成外科 診療講師)

<https://hjsbi.base.shop/>

## 目次

ご挨拶	1
開催概要	2
交通のご案内	3
参加者へのご案内	4
発表者へのご案内	5
日本熱傷学会北海道地方会世話人一覧	6
日本熱傷学会北海道地方会歴代会長	7
総会・学術集会プログラム	8
日本熱傷学会北海道地方会会則	10

---

## ご挨拶

---

第 31 回日本熱傷学会北海道地方会  
会長 石川 耕資  
北海道大学病院 形成外科 診療講師

このたび、第 31 回日本熱傷学会北海道地方会を開催させていただきます。北海道大学形成外科として本地方会を開催するのは、第 1 回（1994 年）大浦武彦教授、第 7 回（2001 年）および第 11 回（2005 年）杉原平樹教授、私が初めて参加した第 17 回（2010 年）山本有平教授、第 25 回（2019 年）村尾尚規診療准教授に続き、6 回目となります。若輩ながら歴史ある本地方会の会長を拝命し、日々大変な熱傷診療に関わる若い世代が気軽に参加できるよう、そして厳冬期の北海道において各地の先生にご参加いただけるよう本地方会としては、初めてのハイブリッド開催といたしました。

近年、熱傷治療に使えるようになった新たなマテリアルの使い方・使い時など、明日から診療に役立つ Tips を共有すべく特別講演およびシンポジウム「新しい熱傷治療の実際」を企画させていただきました。また、未来を担う若手医師が熱傷診療に興味をもち熱傷専門医取得を目指すきっかけとなるよう、教育講演も企画いたしました。3 時間に凝縮された最新の熱傷診療につき、活発な討論が行われることを期待いたしております。多くの皆さまのご参加を心からお待ち申し上げます。

---

## 開催概要

---

名称 第31回日本熱傷学会北海道地方会

会期 令和7年（2025年）2月8日（土）

### 世話人会

時間 12:00～12:45

会場 北海道大学医学部**第3講堂**（臨床講義棟1階）

開催方法 ハイブリッド（現地+Zoom ライブ配信）

Zoom ミーティング（事前にご連絡致しましたURLよりご参加ください）

### 総会・学術集会

時間 13:00～16:05

会場 北海道大学医学部**臨床大講堂**（臨床講義棟2階）

開催方法 ハイブリッド（現地+Zoom ライブ配信）

Zoom ミーティング

（デジタルプログラム・抄録集に記載の

URLよりご参加ください）

発表時間 シンポジウム：口演10分・討論4分

一般演題：口演5分・討論3分



会長 石川 耕資（北海道大学 形成外科）

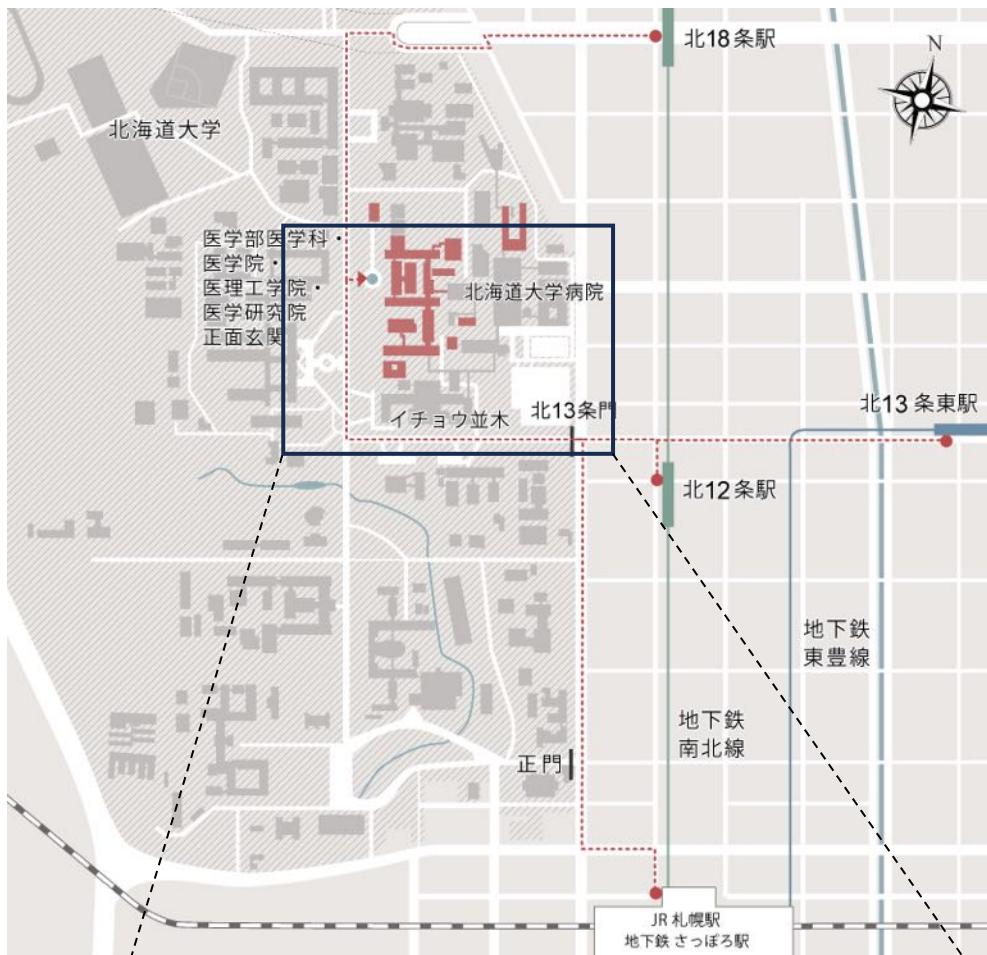
事務局 北海道大学大学院医学研究院形成外科学教室

Tel: 011-706-6978 Fax: 011-706-7827

E-mail: info@prs-hokudai.jp

日本熱傷学会北海道地方会学術集会は、日本熱傷学会認定熱傷専門医更新に必要な学術集会（参加10点、パネル・シンポ・講演等10点、司会・座長5点、一般演題5点）に認定されています。該当する日本熱傷学会認定熱傷専門医の方には後日、証明書をメール送付いたします。

## 交通のご案内



**JR**  
札幌駅下車：  
徒歩約 20 分

**地下鉄**  
南北線北 12 条駅下車：  
徒歩約 10 分



臨床講義棟



駐車場はございません。公共の交通機関をご利用ください。

---

## 参加者へのご案内

---

1. 録画・録音・写真撮影は会場内・オンラインいずれも、一切禁止といたします。

### <現地参加者>

1. **開場は 12:30 です。**
2. 受付の際、医師、医療従事者（看護師、理学療法士、作業療法士等）は年会費として、救急隊員は参加費として以下の金額を申し受けます。
  - ・医師：2,000 円（名誉会員：無料）
  - ・看護師、理学療法士、作業療法士、救急隊員：1,000 円

### <オンライン参加者>

1. Zoom ミーティングの**開場は 12:50 です。**
2. デジタルプログラム・抄録集に記載の URL もしくはミーティング ID から各自の Zoom アカウントで登録を行い、参加してください。
3. **Zoom アカウントの表示名は「姓名（職種）」としてください。オンライン参加登録の氏名と照合して Zoom への入室を許可します。**  
職種カテゴリー：医師、看護師、理学療法士、作業療法士、救急隊員  
例) 石川 耕資（医師）
4. 質問者は Zoom のチャットに質問内容をテキスト入力し、**宛先を全員**として送信してください。司会、座長が読み上げ、発表者が回答いたします。

---

## **発表者へのご案内**

---

1. 利益相反の有無は、演題タイトルの次の発表スライドに開示してください。利益相反の項目、スライド様式は下記リンクの「日本熱傷学会学術集会：自己申告による利益相反報告書」に準じてください。  
[http://www.jsbi-burn.org/riekisouhan/riekisohan\\_shishin.pdf](http://www.jsbi-burn.org/riekisouhan/riekisohan_shishin.pdf)
2. 個人情報保護の観点から個人が識別され得る症例の提示に際しては十分に注意を払い、ご発表いただくようお願ひいたします。
3. 発表者は日本熱傷学会機関誌「熱傷」掲載用に演題名、演者名、施設名を含めて 400 字以内の抄録を 2 月末日までに下記事務局宛てに E メールにてご提出ください。  
日本熱傷学会北海道地方会事務局 : info@prs-hokudai.jp

### **<現地発表者>**

1. 2025 年 2 月 1 日（土）までに下記事務局宛てに PowerPoint もしくは Keynote で作成した発表データをお送りください。発表のために預かりしたデータは、学術集会終了後に事務局が責任をもって消去いたします。  
第 31 回日本熱傷学会北海道地方会学術集会事務局 : info@prs-hokudai.jp
2. 発表は事務局で用意した MacBook にて行っていただきます。原稿を入力いただければ発表者ツールは使用可能です。
3. オンライン参加者にも見えるよう PC 内のポインターツールをお使いください。

### **<オンライン発表者>**

1. 当日ご自身で発表画面を共有いただきます。事前にリハーサルを行いますので、別途ご連絡させていただきます。

---

## 日本熱傷学会北海道地方会世話人一覧

---

2024 年 12 月現在（五十音順）

世話人代表	救急	早川 峰司	北海道大学 救急医学分野
世話人・事務局幹事	形成	村尾 尚規	斗南病院 形成外科
世話人・監事代理	救急	成松 英智	札幌医科大学 救急医学講座
世話人	看護	石井 祥子	札幌医科大学附属病院 高度救命救急センター
世話人	形成	石川 耕資	北海道大学 形成外科
世話人	看護	岩佐 幸一	北海道大学病院 救急救命ナースセンター
世話人	救急	岡田 基	旭川医科大学 救急医学講座
世話人	形成	小田 陽一郎	市立釧路総合病院 形成外科
世話人	形成	川嶋 邦裕	市立札幌病院 形成外科
世話人	形成	木村 中	函館中央病院 形成外科
世話人	看護	齋 直美	市立札幌病院 救命救急センター
世話人	救急	提嶋 久子	市立札幌病院 救命救急センター
世話人	救急	沢本 圭悟	札幌医科大学 救急医学講座
世話人	看護	陶山 恵	旭川赤十字病院 看護部
世話人	看護	干場 麻央	札幌医科大学 皮膚形成外科病棟
世話人	形成	丹代 功	旭川赤十字病院 形成外科
世話人	救急	奈良 理	手稻渓仁会病院 救命救急センター
世話人	形成	林 利彦	旭川医科大学 形成外科
世話人	形成	堀内 勝己	市立札幌病院 形成外科
世話人	救急	前川 邦彦	北海道大学 救急医学分野
世話人	看護	村上 由美子	市立札幌病院 看護部
世話人	形成	山下 建	札幌医科大学 形成外科
世話人	形成	山本 有平	北海道大学 形成外科
世話人	形成	四ツ柳 高敏	札幌医科大学 形成外科
世話人	消防	和合 匠学	札幌市消防局 警防部

計 25 名

---

## 日本熱傷学会北海道地方会歴代会長

---

第1回	1994年10月	大浦 武彦	北海道大学 形成外科
第2回	1995年11月	金子 正光	札幌医科大学 救急集中治療部
第3回	1996年11月	手戸 一郎	市立札幌病院 救命救急センター
第4回	1998年1月	阿部 清秀	札幌医科大学 形成外科
第5回	1999年1月	大河原 章	北海道大学 皮膚科
第6回	2000年1月	松原 泉	市立札幌病院 救命救急センター
第7回	2001年2月	杉原 平樹	北海道大学 形成外科
第8回	2002年2月	浅井 康文	札幌医科大学 救急集中治療部
第9回	2003年2月	本間 賢一	中央美容クリニック札幌院
第10回	2004年2月	丸藤 哲	北海道大学 救急医学分野
第11回	2005年2月	杉原 平樹	北海道大学 形成外科
第12回	2006年2月	牧瀬 博	市立札幌病院 救命救急センター
第13回	2007年2月	四ッ柳 高敏	札幌医科大学 形成外科
第14回	2008年2月	浅井 康文	札幌医科大学 救急集中治療学講座
第15回	2009年2月	吉田 哲憲	市立札幌病院 形成外科
第16回	2010年2月	丸藤 哲	北海道大学 救急医学分野
第17回	2010年11月	山本 有平	北海道大学 形成外科
第18回	2011年11月	浅井 康文	札幌医科大学 救急集中治療学講座
第19回	2012年11月	阿部 清秀	くにもと病院 形成外科
第20回	2013年11月	牧瀬 博	市立札幌病院 救命救急センター
第21回	2015年2月	四ッ柳 高敏	札幌医科大学 形成外科
第22回	2016年2月	奈良 理	手稲渓仁会病院 救命救急センター
第23回	2017年2月	川嶋 邦裕	市立札幌病院 形成外科
第24回	2018年1月	丸藤 哲	北海道大学 救急医学分野
第25回	2019年1月	村尾 尚規	北海道大学 形成外科
第26回	2020年1月	成松 英智	札幌医科大学 救急医学講座
第27回	2021年1月	四ッ柳 高敏	札幌医科大学 形成外科 (Web)
第28回	2022年1月	提嶋 久子	市立札幌病院 救命救急センター (Web)
第29回	2023年1月	村尾 尚規	斗南病院 形成外科
第30回	2024年2月	早川 峰司	北海道大学 救急医学分野 (Web)
第31回	2025年2月	石川 耕資	北海道大学 形成外科 (Hybrid)
第32回		成松 英智	札幌医科大学 救急医学講座

(現地以外の開催方法)

---

## 総会・学術集会プログラム

---

13:00 開会の挨拶

会長 石川 耕資

13:00~13:10 総会

日本熱傷学会北海道地方会事務局幹事  
／斗南病院 形成外科 村尾 尚規

13:10~13:50 特別講演（共催セミナー）

司会 北海道大学 形成外科 石川 耕資

新しい熱傷治療の実際－RECELL の使用経験－

兵庫県立加古川医療センター 救急科 國重 千佳

共催：第 31 回日本熱傷学会北海道地方会学術集会／コスモテック株式会社

13:50~14:00 休憩

14:00~14:56 シンポジウム「新しい熱傷治療の実際」

座長 市立札幌病院 形成外科 七戸 龍司

1. RECELL®の適切な使用場面について～単独使用は有効なのか？～

札幌医科大学 形成外科 上田 直弘

2. 市立札幌病院における熱傷治療の実際

市立札幌病院 形成外科 草島 英梨香

3. ネキソブリッド®使用症例の検討－当施設の 4 症例による比較

函館中央病院 形成外科 大塚 一輝

4. 热傷に対するネキソブリッド®の使用経験

北海道大学 形成外科 中村 嘉諭

14:56~15:10 休憩

**15：10～15：50 一般演題**

座長 札幌医科大学 高度救命救急センター 沢本 圭悟

1. 非固着性シリコーンゲルドレッシング材 SI メッシュを用いて簡便化したパッチ植皮手技

北海道大学 形成外科 石井 陸

2. 保存的治療によって治癒した灯油化学損傷の2例

函館中央病院 形成外科 堀内 美恵

3. アスコルビン酸の使用により尿中クレアチニンが偽性低値となった広範囲熱傷の1例

北海道大学 大学院医学研究院 救急医学教室 福原 侑真

4. イソジンシュガーパスタ軟膏の使用が、高血糖、脱水症、甲状腺機能低下症の要因の1つと疑われた1例

北海道大学病院 救命救急センター 田中 祥平

5. 热傷事案の情報伝達について～救急隊アプリのご紹介～

札幌市消防局警防部救急課救急指導係 宇野 貞廣

**15：50～16：05 教育講演**

司会 札幌医科大学 形成外科 北田 文華

2024年度日本熱傷学会専門医試験を終えて

北海道大学 形成外科 石井 浩子

16：05 閉会の挨拶

会長 石川 耕資

# 日本熱傷学会北海道地方会会則

## 第1章 総 則

- 第1条 本会は日本熱傷学会北海道地方会（以下、本会）と称し、その事務局を北海道大学大学院医学研究院形成外科学教室に置く。
- 第2条 本会は北海道における熱傷に関する教育、研究、予防、医療の連絡提携および促進を図り、専門知識の増進普及に貢献し、併せて会員相互の懇親融和を図ることを目的とする。
- 第3条 本会は前条の目的を達するために次の事業を行う。
1. 学術集会の開催
  2. その他

## 第2章 会 員

- 第4条 本会の会員は原則として日本熱傷学会会員とするが、日本熱傷学会会員以外でも本会の目的に賛同し、所定の手続きを経て会費を納入するものは会員と認めるものとする。
1. 会 員…医師および世話人会で承認された医学研究者
  2. 名誉会員…65歳以上の地方会会长経験者で世話人会の議を経て推薦されたもの
  3. 準会員…医療に従事する者（看護師、OT、PTなど）
  4. 救急隊員
  5. 賛助会員…本会の目的、事業を賛助する上記以外の個人、任意団体または法人の代表者
- 第5条 本会に入会しようとするものは、当該年度の会費を添えて本会事務局に申し込むものとする。
- 第6条 会員は会費を引き続き2年以上滞納したときはその資格を失う。

## 第3章 役 員

- 第7条 本会には若干名の世話人と事務局幹事を置く。
- 第8条 本会の会長は世話人会において互選により選出する。  
会長の任期は1年とする。
- 第9条 世話人は世話人会において選出する。
- 第10条 本会は世話人代表1名を置き、原則として北海道大学大学院医学研究院救急医学教室、札幌医科大学医学部形成外科、札幌医科大学医学部救急医学講座、北海道大学大学院医学研究院形成外科学教室が順次担当する。  
世話人代表の任期は4月1日から翌々年3月31日までの2年とする。  
世話人代表は本会を代表し本会の業務を統括する。
- 第11条 事務局幹事は本会の事務・会計を担当し事業計画と収支決算書の作成にあたる。
- 第12条 本会には監事1名を置く。

## **第4章 会 議**

第13条 本会の会議は次のとおりとする。

(1)学術集会 (2)世話人会 (3)総会

第14条 毎年1回以上学術集会、総会を開催する。

第15条 会長は学術集会、総会を開催する。

第16条 会長は世話人会を招集しその議長になる。

## **第5章 会 計**

第17条 本会の年会費は以下の通りとする。

1. 会員は2,000円、準会員は1,000円とする。
2. 名誉会員は年会費を免除する。
3. 救急隊員は参加費を1,000円とする。
4. 賛助会員は20,000円とする。

第18条 会計は毎年一回世話人会の承認を得る。

第19条 本会の会計年度は4月1日に始まり3月31日に終わる。

## **第6章 会則の変更**

第20条 本会の会則は世話人会の承認を得て改定することが出来る。

## **付 則**

- 1 本会則は1994年4月1日より実施する。
- 1 本会則は1997年4月1日より改定実施する。
- 1 本会則は2005年4月1日より改定実施する。
- 1 本会則は2015年4月1日より改定実施する。



壊死組織除去剤

## ネキソブリッド®外用ゲル5g

NexoBrid®

処方箋医薬品(注意—医師等の処方箋により使用すること)

薬価基準収載



### 褥瘡・皮膚潰瘍治療剤

処方箋医薬品(注)

(注)—医師等の処方箋により使用すること。

## フィブラスト®スプレー250/500

FIBLAST® Spray 250/500 トラフェルミン(遺伝子組換え)製剤

薬価基準収載

効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む注意事項等情報については電子化された添付文書をご参照ください。



製造販売元[文献請求先及び問い合わせ先]  
科研製薬株式会社

東京都文京区本駒込二丁目28番8号

医薬品情報サービス室

2023年6月作成  
2NF01CG

## 創傷ケアの ファーストチョイス

Wound Hygiene 創傷衛生の実践

創傷の清浄化を期待する時に

アクアセル®Ag.  
アドバンテージ



販売名：アクアセル®Ag アドバンテージ

医療機器承認番号：30200BX00138000 医療用品（O4）整形用品

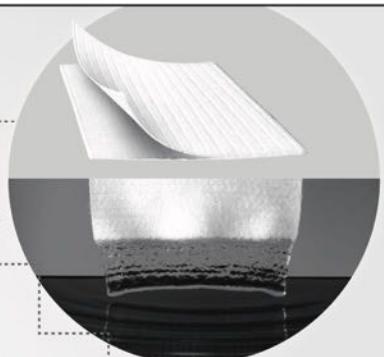
高度管理医療機器 抗菌性創傷被覆・保護材 JMDNコード：34614000

※ご使用前には添付文書を必ずお読みください。



ハイドロファイバー®  
テクノロジー

滲出液、細菌、汚染物質などを  
ドレッシング内にトラップし、ドレッシング交換のたびに  
創面の清浄化を促進します。



ハイドロファイバー®  
ゲル化の様子



MORE THAN  
SILVER® テクノロジー



2つの添加剤 BTC ((塩化ベンゼトニウム) : 界面活性剤) と  
EDTA (金属キレート剤) の作用により銀イオンによる抗菌性能のスピードを向上させました。

®はConvatec Inc.の登録商標です。© 2022 Convatec Inc.



convatec

—よりそい、つなぐ—

製造販売元

コンバテック ジャパン株式会社

〒112-0004 東京都文京区後楽1-1-7

お客様相談窓口

0120-532384

<https://www.convatec.com/ja-jp/>

AP-56724-JPN

## エスアイ・メッシュ SI-Mesh

創傷用シリコーンゲルメッシュドレッシング  
Silicone-Faced Wound Dressing Mesh Type



### 繊細な創傷管理に貢献する 非固定性ドレッシング

《エスアイ・メッシュ》は、メッシュ構造の  
創傷用シリコーンゲルメッシュドレッシングです。  
ドレッシングの創部への固定や、貼付中のズレ・浮きなどを低減し、  
創傷治療ドクターが望む、創傷管理の実現に貢献します。

創部への固定を防ぎ、  
剥離時の  
組織損傷を低減

適度な密着性と  
透過性で、  
ズレや浮きを防ぐ

扱いやすい設計で、  
効率的な処置に  
貢献

保険適用 特定保険医療材料：非固定性シリコンガーゼ  
機能区分：平坦部位用、広範囲創傷用  
※ご使用の際は、必ず添付文書をお読みください。

#### アルケア株式会社

東京都墨田区錦糸1-2-1 アルカセントラル19F TEL:03-0013  
TEL:03-5611-7800(代表) FAX:03-5611-7825

《エスアイ・メッシュ》の粘着面には、「マイルドピール」を採用しています。



皮膚への思いやり

マイルドピールは、生体適合性の高いシリコーンの粘弾性制御により、固定と低剥離刺激を両立した組織損傷リスクを低減する粘着技術です。

管轄医療機器／医療機器認証番号:227ADBZX00013000

お問い合わせ：コールセンター

フリーダイヤル

**0120-770-863**

土・日・祝日を除く  
午前9:00～午後5:00

+ スミス・アンド・ネフューは  
最適な局所陰圧閉鎖療法を提供します。

**Smith+Nephew**

Helping you get **CLOSER TO ZERO**® Delay in wound healing

**RENASYS<sup>◊</sup> TOUCH**  
Negative Pressure Wound  
Therapy System

**PICO<sup>◊</sup> 7**  
Single Use Negative Pressure  
Wound Therapy System

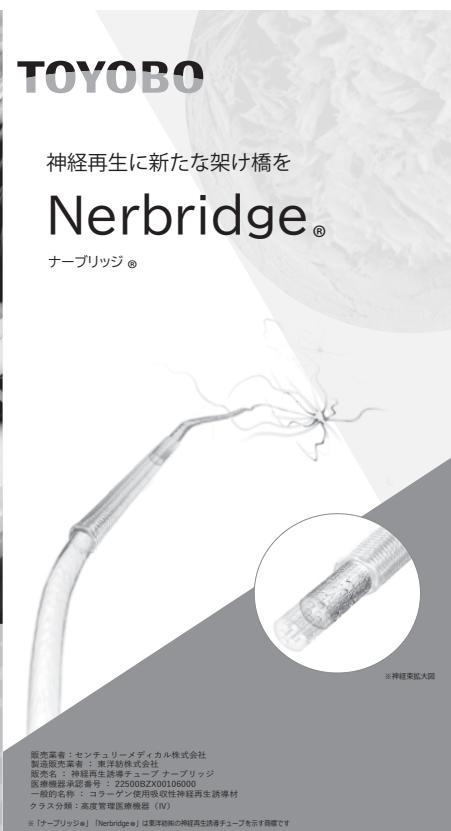
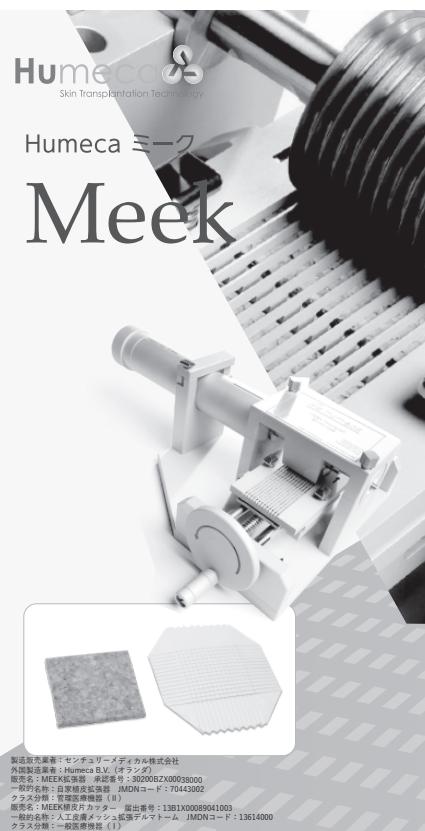


販売名：RENASYS 創傷治療システム 承認番号：224008ZX00276000

販売名：PICO 創傷治療システム 承認番号：226008ZX00226000

スミス・アンド・ネフュー株式会社

〒105-5114 東京都港区浜松町 2-4-1 TEL:03-5403-8830



**CMI** Partner in Healthcare  
**Century Medical, Inc.**

センチュリーメディカル株式会社

本社 〒141-8588 東京都品川区大崎1-11-2 TEL.03-3491-1785 FAX.03-3491-1857

04ALL048-01

### 共催・協賛企業一覧 (広告掲載順)

科研製薬株式会社  
コンパテックジャパン株式会社  
アルケア株式会社  
スミス・アンド・ネフューリー株式会社  
センチュリーメディカル株式会社  
株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング  
コスモテック株式会社

### 第31回日本熱傷学会北海道地方会プログラム

発行人 第31回日本熱傷学会北海道地方会 会長 石川 耕資  
発行所 第31回日本熱傷学会北海道地方会事務局  
北海道大学医学部形成外科学教室  
〒060-8638 札幌市北区北15条西7丁目  
電話 : 011-706-6978 FAX : 011-706-7827  
E-mail : info@prs-hokudai.jp



J-TEC

Autologous

Cultured

Epidermis

# ジェイス®

## 自家培養表皮

指定再生医療等製品

ジェイス®に関するお問合わせは

医療従事者専用

TEL: 0533-67-3682

受付時間：9:00～17:00

**重症熱傷、先天性巨大色素性母斑  
栄養障害型表皮水疱症 および  
接合部型表皮水疱症の治療に貢献する、  
日本初の再生医療製品。**

ジェイス®は、動物由来の原料（ウサギ血清、マウス由来細胞及びブタ臍臓由来トリプシン）を用いて製造しています。安全性確保のためにウイルス試験等を実施していますが、動物由来原材料を使用していることに起因する感染症の危険性を完全に排除できないことから、本品は疾病の治療上の必要性を検討の上、必要最小限の使用にとどめてください。

ジェイス®は、患者自身の皮膚組織を採取し、分離した表皮細胞を培養し、シート状に形成して患者自身に使用する「自家培養表皮」です。

### 【効能、効果又は性能】

#### 【重症熱傷】

自家植皮のための患皮面積が確保できない重篤な広範囲熱傷で、かつ、受傷面積として深達性Ⅱ度熱傷創及びⅢ度熱傷創の合計面積が体表面積の30%以上の熱傷を適応対象としています。

表皮細胞シートは、Ⅲ度熱傷創において、再構築された真皮に適用し、創を閉鎖することを目的とします。真皮の再構築は、原則として同種皮膚移植によって行ってください。

なお、深達性Ⅱ度熱傷創への使用は、Ⅲ度熱傷と深達性Ⅱ度熱傷が混在し、分けて治療することが困難な場合に限ります。

#### 【先天性巨大色素性母斑】

表皮細胞シートは、先天性巨大色素性母斑を切除した後の創部に適用し創を閉鎖することを目的とします。

#### 【栄養障害型表皮水疱症および接合部型表皮水疱症】

難治性又は再発性のびらん・潰瘍を有する栄養障害型又は接合部型表皮水疱症の患者を適応対象としています。表皮細胞シートは、難治性又は再発性のびらん・潰瘍部に適用し、上皮化させることを目的とします。

●効能、効果又は性能、警告、禁忌・禁止を含む使用上の注意等の詳細につきましては、製品添付文書等をご参照下さい。

製造販売元

株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング

<https://www.jpte.co.jp>

J-TEC

検索

ジェイス®の使用に関する情報、安全性に関する最新の情報は、ホームページでご確認ください。

<2022年10月 作成>



RECELL は、患者の健常皮膚より採取した皮膚片から細胞懸濁液を作製するためのキットです

### [特徴]

採皮部位は、治療部位の  
1/80

手術室で、細胞懸濁液の  
作製が可能

様々な自家細胞が  
均一に供給

通常の自家網状植皮に比べ、  
健常皮膚の温存が可能

患者の状態に応じて、  
早期手術も可能

ケラチノサイト、メラノサイト、  
線維芽細胞等を供給

RECELL は、熱傷治療の課題に対し、最善の治療方法を提案します

### [規格]

製品名	製品番号	JAN コード	最大治療面積 (1 セット)	構成品
RECELL 1920	C3RL01-B:JP	0851707004248	1920 平方 cm	・ユニット本体 ・酵素バイアル ・滅菌水バイアル ・緩衝液バイアル ・スプレーノズル ・採液針
RECELL 640	C3RL01-A:JP	0851707004231	640 平方 cm	

※滅菌済み製品（ユニット本体：EOG 減菌、酵素バイアル・スプレーノズル・採液針：放射線減菌、緩衝液バイアル：高压蒸気滅菌）

※使用前は、必ず添付文書をお読みください。

※再滅菌、再使用禁止

販売名 : RECELL 自家細胞採取・非培養細胞懸濁液作製キット  
一般的名称 : 自家皮膚細胞移植用キット  
医療機器承認番号: 30400BZX00039000  
クラス分類 : 高度管理医療機器（クラスIII）

※改良のため予告なく仕様が変更されることがありますのであらかじめご了承ください。

製造販売元



本 社: 〒113-0033 東京都文京区本郷2-3-9 ツインビューお茶の水ビル  
TEL.03-5802-3830 FAX.03-5802-6890 <http://cosmotec.com/>

製造元

